

標準施工仕様書

PREMA EDITION

製品名	ピュアコートプレマエディション【カラー工法】
種別	●ピュアインナーカラー：ピュアコート専用中塗りカラーコート ●ピュアコート水性プレマエディション：4 フッ化エチレン系光触媒塗料 常温硬化形
荷姿	●ピュアインナーカラー： 12 kg/缶 ●ピュアコート水性プレマエディション： 8 kg/缶、3 kg/缶
用途	外壁
適用基材	一般外壁、各種旧塗膜、各種サイディング板、RC、モルタル、ALC板、PC板、トタン、鋼板、スレート等

工程	材料	調合	所要量/㎡/回 (塗布面積/缶/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③洗浄後、降雨後は、均一に乾いてから施工してください。④塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。					
下塗り	下地に応じた下塗材を施工してください。					
中塗り	ピュアインナーカラー 清水	12 kg 2～8%	0.12～0.16 kg (75～100 ㎡)	刷毛 中毛ローラー エアレス	2	4 時間以上 ※最終養生 16 時間
上塗り	ピュアコート水性 PE 既調合	8 kg	0.035～0.045kg (177～228 ㎡)	エアコートガン エアレス※	2	0.5 時間 ～7 日

※塗装機の仕様は別途施工マニュアルをご確認下さい

注 意 事 項
・塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品 6 ヶ月、油性製品は 12 ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。また、ピュアコート水性 PE はご購入から 3 ヶ月以内、開封から 14 日以内にご使用ください。 ・ピュアコート水性 PE の施工に関しては、必ず施工マニュアルをご確認ください。 ・ピュアコート水性 PE はローラー施工ができません。事前に所定の口径チップを準備し、必ず吹付で塗装してください。吹付の仕様に関しては、施工マニュアルを参照ください。 ・ピュアインナーカラーは 3 分艶程度ですが、ピュアコート水性 PE 施工後はさらに落ち着いた艶に仕上がります。基材や施工方法によって艶の見え方が異なる場合があります。 ・ピュアコート水性 PE は光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工マニュアルと異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。 ・ピュアインナーカラーは淡彩～中彩までになります。 ・ピュアコート水性 PE は十分に攪拌してご使用ください。施工中も 30 分～60 分に 1 回程度攪拌して塗布してください。 ・光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。 ●建物の構造上汚れがたまりやすい箇所 ●内部からの水まわりに起因するもの ●無機系汚れや小動物の糞、樹液など局所的な汚れ ●釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆 ●シーリングに起因する汚れ ・環境によっては、藻やカビが発生する場合があります。 ・吹付での施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因となる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。 ・中塗りの乾燥が不十分（硬化不良）の状態ではピュアコート水性 PE を施工すると白濁の恐れがあります。 ・シーリングは後打ちを推奨いたしますが、シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生することがありますので塗り重ね適合性を十分確認の上、施工してください。 ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。 ・施工環境が気温 40℃以上、5℃以下の場合・湿度 80%RH 以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。 ・工程間の間隔時間は仕様を厳守してください。 ・ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項を守ってください。詳細な内容は安全データシート（SDS）をご確認ください。

製品名	ピュアコートプレマエディション【クリヤー工法】
種別	●ピュアプライマー /ピュアコート専用クリヤープライマー ●ピュアインナーUVクリヤー /ピュアコート専用中塗りクリヤーコート ●ピュアコート水性プレマエディション /4 フッ化エチレン系光触媒塗料 常温硬化型
荷 姿	●ピュアプライマー 15 kg/セット ●ピュアインナーUVクリヤー 12 kg/缶 ●ピュアコート水性プレマエディション 8 kg/缶 3 kg/缶
用 途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング（淡彩、中彩程度）

工程	材料	調合	所要量/㎡/回 (塗布面積/缶/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
事前 診断	新築～10 年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認してください。						
素地 調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にしてください。③チョーキングが多い面には施工出来ません。④下地の表面に微細なひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。⑦吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	ピュアプライマー 主剤 硬化剤 清水	14kg 1kg 0～6%	0.10～0.15 kg (100～150 ㎡)	刷毛 中毛ローラー	1	4 時間以上 7 日以内	6 時間以内
中塗り	ピュアインナーUV クリヤー 清水	12 kg 0～4%	0.1～0.12 kg (100～120 ㎡)	刷毛 中毛ローラー	2	16 時間以上 (工程内 4 時 間以上)	—
上塗り	ピュアコート水性 PE 既調合	8 kg	0.035～0.045kg (177～228 ㎡)	エアコートガン エアレス※	2	0.5 時間 ～7 日	—

※塗装機の仕様は別途施工マニュアルをご確認下さい

注 意 事 項
・ 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品 6 ヶ月、油性製品は 12 ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。また、ピュアコート水性 PE はご購入から 3 ヶ月以内、開封から 14 日以内にご使用ください。 ・ ピュアプライマーは必ず電動攪拌機を使用して攪拌し、攪拌後は 30 分程度静置させてから施工してください。 ・ ピュアコート水性 PE の施工に関しては、必ず施工マニュアルをご確認ください。 ・ ピュアコート水性 PE はローラー施工ができません。事前に所定の口径チップを準備し、必ず吹付で塗装してください。吹付の仕様に関しては、施工マニュアルを参照ください。 ・ ピュアインナーUVクリヤーは 3 分艶程度ですが、ピュアコート水性 PE 施工後はさらに落ち着いた艶に仕上がります。基材や施工方法によって艶の見え方が異なる場合があります。塗り継ぎや足場つなぎでの艶ムラにご注意ください。 ・ ピュアコート水性 PE は光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工要領書と異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。 ・ 濃色基材に使用した場合、白度が上がりムラの要因となる恐れがあります。やむを得ず使用する場合は、必ず試験施工を実施し、仕上がりをご確認ください。 ・ ピュアコート水性 PE は十分に攪拌してご使用ください。施工中も 30 分～60 分に 1 回程度攪拌して塗布してください。 ・ ピュアコート PE は光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工マニュアルと異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。 ・ 光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。 ●建物の構造上汚れがたまりやすい箇所 ●内部からの水まわりに起因するもの ●無機系汚れや小動物の糞、樹液など局所的な汚れ ●釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆 ●シーリングに起因する汚れ ・ 環境によっては、藻やカビが発生する場合があります。 ・ 中塗りの乾燥が不十分（硬化不良）の状態ではピュアコート PE を施工すると白濁の恐れがあります。 ・ 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けてください。 ・ 施工環境が気温 5℃以下の場合・湿度 85%RH 以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合の施工は避けてください。 ・ ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS) をご確認ください。

施工マニュアル

はじめに

ピュアコート プレマエディションは、フッ素系アイオノマー＋光触媒による世界初の特許技術（特許4522886号）を基に、さらなる性能向上や現場施工に適応させたコーティング材料です。

本書は、施工前の確認事項をはじめ、特性や仕様についてわかりやすく取りまとめたものになります。必ず施工前に全工程をご確認いただき、正しい施工を行うための資料としてご活用いただければ幸いです。

CONTENTS

02	はじめに
03	塗装工程
04	施工方法
10	性状と注意事項・注意点
11	安心塗装チェックシート



施工方法

①下地塗膜確認

下地塗膜の乾燥時間はピュアインナーシリーズの塗装間隔時間を順守してください。(16時間以上/23℃)
下地が万全でないと、ピュアコート プレマエディションの白濁化やチョーキング等不具合が発生する場合がありますので、塗装前に再度各所の確認をしてください。

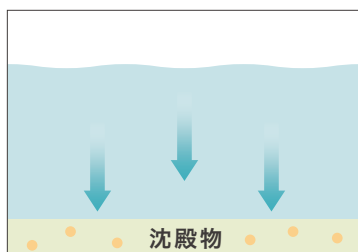
②施工準備

■攪拌

ピュアコート プレマエディションは光触媒(酸化チタン)が底に沈殿している場合があります。施工前に必ず攪拌を行ってください。

そのまま塗装した場合、塗装ムラ等不具合が発生する可能性があります。

※塗装前は必ず目視で容器の底部に沈殿物がないことを確認してください



まぜる



推奨：インパクト用
ペイントミキサー



塗装中も

攪拌して吹き付けしている間も、30分～60分を目安にピュアコート プレマエディションを攪拌して、器具内の沈殿や偏りを防止してください。

■気象条件

ピュアコート プレマエディションは水性製品であるうえ、ミスト状にして吹き付けするため、右記にあてはまらない場合は施工できません。

天候：晴～曇
気温：5～40℃
湿度：80%以下
風：ビューフォート風力階級4未満

■吹き付け準備

塗装器具を水もしくはIPA(イソプロピルアルコール)で十分に洗浄してください。

違う塗料や溶剤に混ざると塗装機が詰まる可能性があります。

施工方法

■ 塗装機の仕様

	製品名	口径 (mm)	吐出圧 (MPa)	空気圧 (MPa)
エアコートガン (エア圧 0.1～0.3MPa)	精和産業社製 ターンWチップ0940	0.23	4～5	0.1～0.3
	ワグナー社製 3000ACチップ9/40または9/50	0.23	4～5	0.1～0.3
エアレス塗装機	精和産業社製 ターンWチップ(ACG用)0940	0.23	4～5	—
	ワグナー社製 トレードチップ2 409	0.23	4～5	—
カップガン (1馬力以上)	口径1mm パターン幅30cm	1.0	—	0.2～0.3

※この塗装機仕様は必ず守ってください

大きな口径のチップを使うとどうなるのか

吐出量が多くなり、ムラやタレの原因になります。

小さい口径のチップを使うとどうなるのか

吐出量が少なくなり、機能不良(親水性不足)になります。

エアコートスプレーガン 			カップガンスプレー (重力式、吸上式スプレー) 	
				
				
精和産業社製 ターンWチップ 0940			ワグナー社製 3000ACチップ 9/40または9/50	
エアレススプレーガン 				
				
				
精和産業社製 ターンWチップ(ACG用) 0940			ワグナー社製 トレードチップ2 409	
			口径1mm以下	

ピュアコート プレマエディションはスプレー塗装専用です

施工方法

③吹き付け施工

■ピュアコート プレマエディション塗装仕様

塗装方法	スプレー吹き付け ※ローラー厳禁	
吹き付け回数	2回	
使用量	1回:0.035~0.045kg/m ² (2回合計:0.07~0.09kg/m ²)	
塗装可能面積	8kg:89~114m ² ※2回吹き of 面積 3kg:33~ 42m ²	
塗り重ね間隔(指触乾燥)	夏	30分
	冬	1時間
親水性確認までの乾燥時間	夏	2時間
	冬	6時間
完全乾燥時間	通年	2週間~1ヶ月

※施工条件や環境によって変化する場合もあります

使用量が少ないとどうなるのか



防汚性(親水性)が弱くなり、ピュアコート プレマエディションの効果なくなる場合があります。

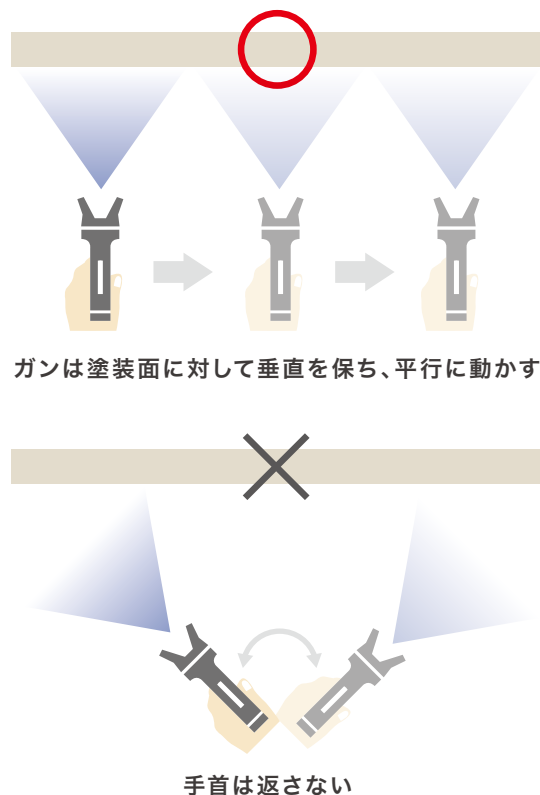
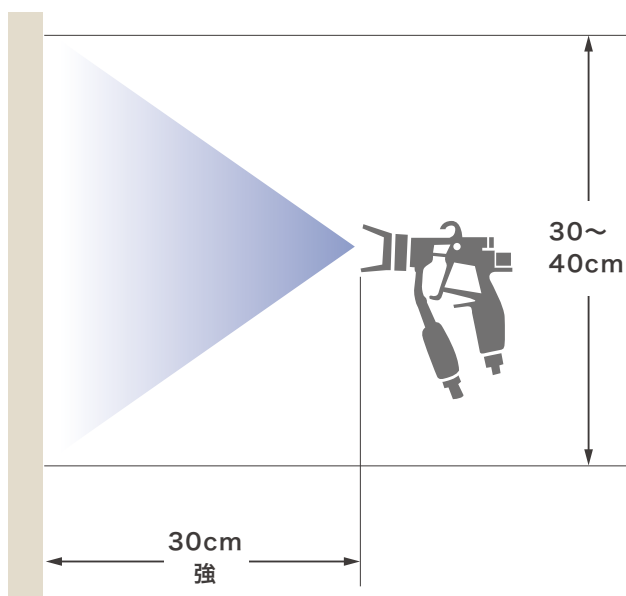
使用量が多いとどうなるのか



塗装後に白濁したり、タレ跡やムラが発生する場合があります。

適量で均一に塗装する事が重要です

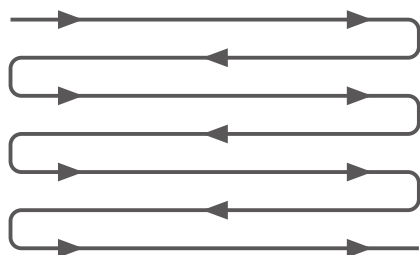
■吹き付け要領



距離や動かし方に注意してください。塗装面とは可能な限り垂直を保ってください

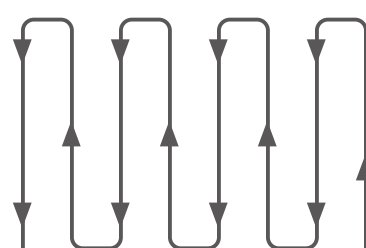
吹き付け速度の目安: 平滑面1㎡を30~50秒で塗装

凹凸面1㎡を30~60秒(少し長め)で塗装



横吹き

※手首を返さない

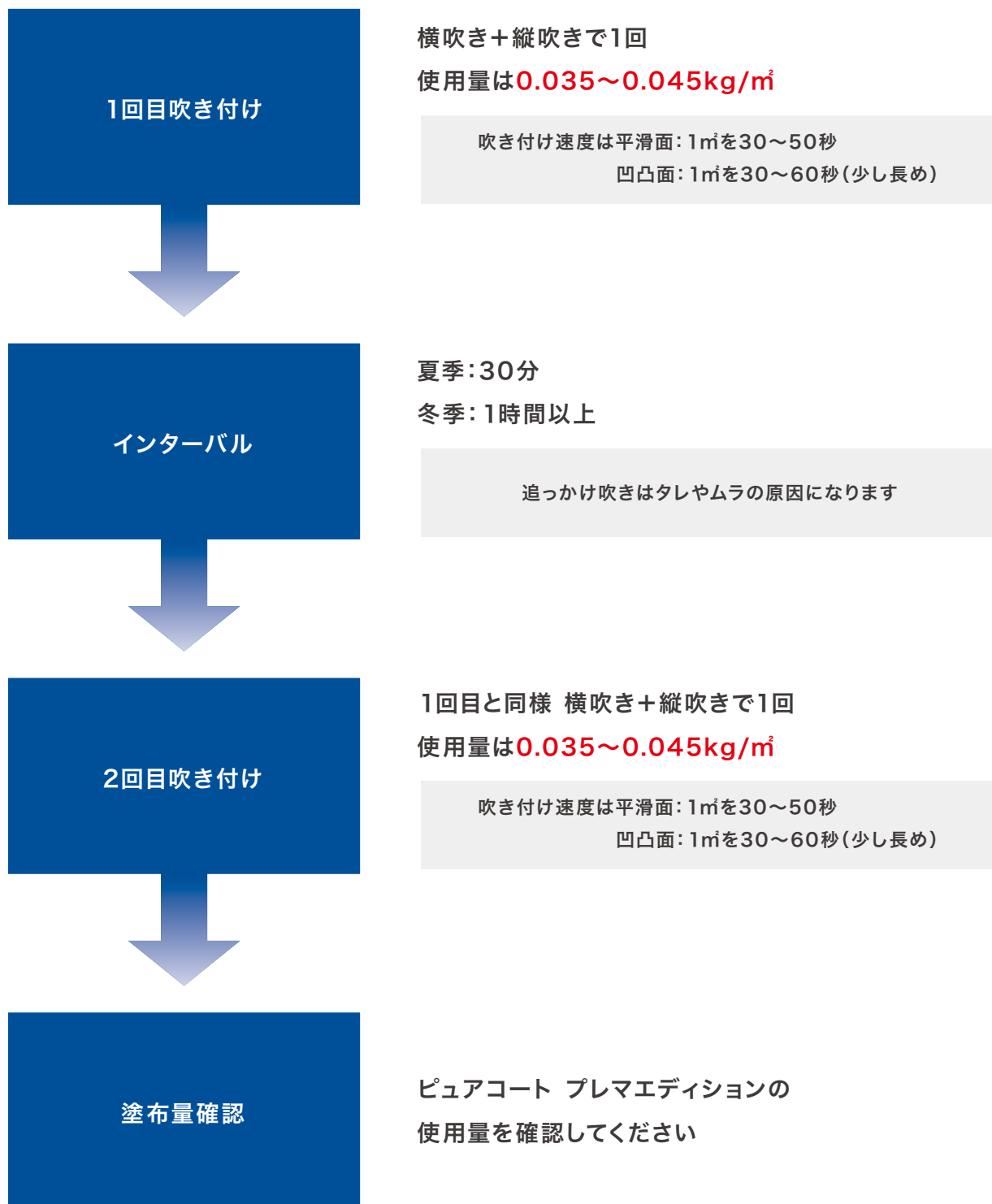


縦吹き

※手首を返さない

横に吹き付け、縦に吹き付けて1回です。2回目のインターバルにも十分注意してください

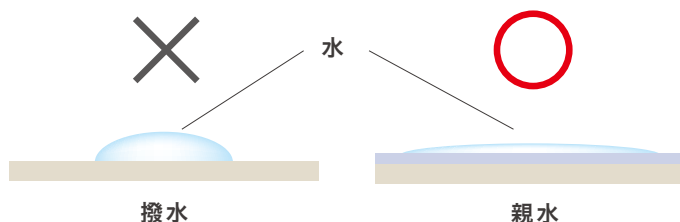
■吹き付け工程



施工方法

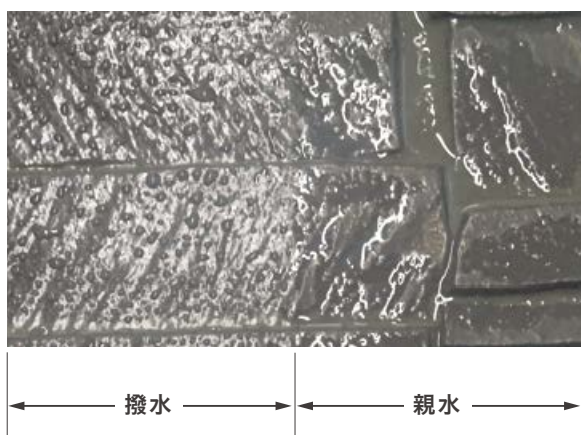
④ 親水性確認

霧吹き器による親水性を確認します。塗膜が十分に乾いてから行ってください。



ピュアコート プレマエディションが正しく塗装された箇所は表面が親水性になっています。

従って、塗装面に霧吹き器などで水をかける事により正常に塗装できたかどうかを確認することができます。



霧吹き器等で親水性を確認する際は、
ピュアコート プレマエディション塗装後

夏季: **2時間以上** 冬季: **6時間以上**

※十分塗膜を乾燥させてから行ってください

乾燥していないうちに水をかけると、ピュアコート プレマエディションも水と一緒に流れ落ちる可能性があります。

⑤ 完了

タレ跡や吹き付けムラがないか全体の仕上がりを確認します。

■補修方法

キズ等の小規模な補修

刷毛等で薄く塗ってください。
(十分にしごいた刷毛等で1回塗り)

ムラ

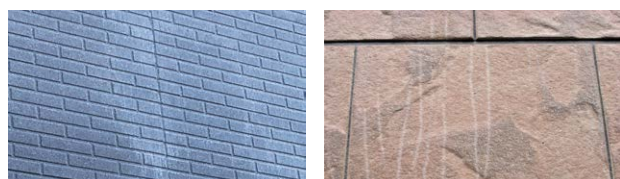
下塗りからの再塗装を行ってください。



タレ

乾燥前: すぐにウエスでふき取り乾燥後、下塗りからの再塗装を行ってください。

乾燥後: イソプロピルアルコールでふき取ってから、下塗りからの再塗装を行ってください。



親水性が弱い

再度、晴天時にピュアコート プレマエディションを再施工してください。(原因としては、下塗り施工後の養生時間が短かった、湿度が高かった、降雨の影響等が考えられます。)

完全乾燥したピュアコート プレマエディション塗膜はリコートができます

性状と注意事項

荷姿	ポリ容器 6L容器:3kg・12L容器:8kg
液性状	乳白色液体、アルコール臭
消防法による危険物区分	非危険物
安衛法表示対象物質	イソプロピルアルコール(IPA)
比重(at25℃)	0.9
粘度(at25℃/イワタカップ)	8.0±2.0sec
pH	8.0~11.0

●ピュアインナーカラー、ピュアインナーUVクリヤーは3分艶程度ですが、ピュアコート プレマエディション施工後はさらに落ち着いた艶に仕上がります。基材や施工方法によって艶の見え方が異なる場合があります。●ピュアコート プレマエディションは光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工要領書と異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。●ピュアインナーカラーは淡彩、中彩までを推奨いたします。濃色下地に使用した場合、白度が上がりムラの要因となる恐れがあります。●ピュアコート プレマエディションはご購入から3か月以内、開封から14日以内にご使用ください。●光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。・建物の構造上汚れがたまりやすい箇所・内部からの水まわりに起因するもの・無機系汚れや小動物の糞、樹液など局所的な汚れ・釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆・シーリングに起因する汚れ●施工を行う前に一度試験施工で仕上がりの確認を行ってください。●非危険物ですが、無理な扱いをせず、冷暗所で保存し、火器を使用しないでください。●廃棄は水性塗料の廃棄方法で行えます。河川や土壤に流さないでください。●施工中、気分が悪くなった場合は医師の診察を受けてください。●施工中、ヘルメット、保護メガネ、手袋、マスク等安全対策をして、換気には十分注意して塗装を行ってください。

塗装前にもう一度、本施工マニュアルをご確認ください
各製品の取り扱いについてはSDSにてご確認ください

注意点

不具合の原因を知っておけば未然に防げます

天候条件 降雨、降雪等の天候不良 結露 高気温 低気温 高湿度 強風	塗装方法 塗料攪拌不足 不適切な塗装方法 塗装速度が一定しない 吹き付け距離が近い、遠い 吐出量が多い、少ない	下地状態 未乾燥下地への塗装 シーラー塗り忘れ 下地の吸い込みムラ 下地の乾燥ムラ パテ補修痕 モルタル等の補修痕
---	---	--

**本工法の仕様を
守らなかった場合は保証書の
発行ができかねます**

ピュアプライマー、ピュアインナーカラー、ピュアインナーUVクリヤーは、上塗りとなるピュアコート プレマエディションの光触媒作用に分解されにくいよう設計されています。特にクリヤー工法で汎用クリヤー塗料を使用したり、ピュアインナーUVクリヤーの塗布量や塗り回数を守らなかったりした場合、早期に層間剥離、白化が発生する恐れがあります。



中塗り:ピュアインナーUVクリヤー
 上塗り:ピュアコート プレマエディション



中塗り:汎用クリヤー塗料
 上塗り:ピュアコート プレマエディション

スーパーUVテスター 400時間促進後



中塗り:
ピュアインナー
UVクリヤー 2回
 上塗り:
ピュアコート
プレマエディション



中塗り:
ピュアインナー
UVクリヤー 1回
 上塗り:
ピュアコート
プレマエディション

安心塗装チェックシート

① 塗装年月日	年	月	日
② ピュアコート プレマエディション LOT No.(製造番号)			
	☐ ピュアインナーカラー	色調:	
③ 中塗り	☐ ピュアインナーUVクリヤー		
下地乾燥状態(下地塗装からの経過時間)		時間:	
④ 塗装面積と ピュアコート プレマエディション使用量(缶数)			
		塗装面積:	缶数:
⑤ ピュアコート プレマエディション 塗装時の天候、気温、湿度			
		天候:	気温: 湿度:
⑥ 塗装方法			
	☐ エアレス	☐ エアコート	☐ カップガン
⑦ コンプレッサー チップ			
		コンプレッサー:	
		チップ:	
☐ 施工前に塗装機器の洗浄を行ったか ☐ 使用前の塗料攪拌を行ったか ☐ 吐出量は適切か			
⑧ 塗装条件	☐ 塗装面との距離は適切か ☐ ガンの移動速度は適切か ☐ 塗装中の塗料攪拌を行ったか ☐ 1回目と2回目の塗装間隔時間は適切か		
⑨ ピュアコート プレマエディション 乾燥時の天候、気温、湿度			
		天候:	気温: 湿度:
⑩ 親水性の確認			
	☐ 実施	☐ 未実施	
⑪ 補修箇所と 補修方法			
		補修箇所:	
		補修方法:	